

診療所等も持っている。

これを市としての地域医療をやるにはどうしたらいいかということ、本年度に入つて国、県の指導も踏まえて、「市立病院等改革推進計画策定委員会」立ち上げ、仙北市内の医療のあり方について多方面から検討を重ねてきているところである。「一つの病院とそれにネットワークとしてつながる診療所」を、こういった形で行うのがベターである。

**質問** 田沢湖病院の診療化については、50年以上にわたり、この地域の拠点病院として大

きな役割を果たしてきた。

病院が診療所になることについては、各種の課題が出てくる。高齢化が進む中で住民の命と健康を確保できるのか、スキー大会、山岳登山、など各種大会や自然災害への対応等緊急医療の確保が必要になるのでこの点についての市長の考えを伺いたい。

**答弁** このことについては、角館総合病院を基幹病院として田沢湖病院を診療所化にし、

そして既存の診療所はそのまま診療所として機能させていくという方法が

ベストであると策定委員会の中で出ている。診療所といったときどうなるかということですが、住民の命、健康についての機能を果たすことであり、外来の診療は現状と同様に出来るよう、医師、看護師の配置は行うということである。

**質問** 救急再開のための医師確保はどのように進められているのか

### 田沢湖病院の救急医療の再開を急ぐ 市民の意見を基に検討する



浦山敏雄

**質問** 市立田沢湖病院の診療所化と、仙北市の地域医療をどうするか。

**答弁** 診療所化ありきでスタートしたわけではなく、市全体の現状と医療ネットワークなり医療形態をどうすべきか、検討してきた結果方向性として田沢湖病院

か伺いたい。

**答弁** 秋田大学医学部、自治医科大学、地元出身の医師の方に、現状も訴えてお願いを続けているところである。さらには人材派遣の業者さんを通じての医師の募集も行っている。

今後とも医師の確保については努力してまいりたい。

の診療所化という話になった事はご理解頂きたいと思う。

**質問** 田沢湖地域は観望の温泉地からの患者の対応については救急医療再開が必要不可欠である。救急医療再開のためにも、医師確保に今年度どのように取り組んでいるか伺いたい。

**答弁** 医師確保については田沢湖病院を主体に、秋田病院並びに自治医科大学への医師の派遣要請を重点的に行っている。又地元出身の医師の方へ直接交渉を前年

行っている。今年に入つて本人にお会いをし状況を説明して仕事をして頂くようお願いを強くしていきたいと思つている。

**質問** 20年度中に、国の総務省からの通達で、市立病院の改革プラン策定については、市民の意見をどのよう

な形で集約していくのか伺う。又策定できない場合のペナルティーがあるのか。

**答弁** 市民並びに議会という必要性を思っている。このあと市民説明会、議会への説明を踏まえて、今年度中に提出したいと思つている。ペナルティーは特にいわれない。強力な指導があると聞いている。

**質問** 公共工事の入札の際、当市では最低制限価格の規定設置についての検討をされているのか又指名審査会に付された工事については低

入札価格調査制度及び条件付き一般競争入札の施行について伺う。



住民800人の命をあずかる田沢診療所

**答弁** 入札方式の改革改善として、低入札価格調査制度、そして条件付き一般競争入札を

試行して、テスト的に二十年度いっぱい行う。こうした改革を試行した上で、さらに総合評価方式というものへ検討を進めていきたいと思つている。

**質問** 第三セクターの会社の全体の相互協力や、相互支援などを重点的に繋げることがプラス面が出てくると思うがどうか。第三セクターの経営責任の明確化が必要で、全体の管理、経営



医療のあり方を検討している改革推進室